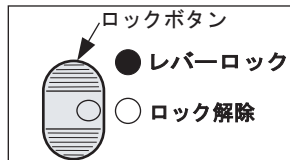
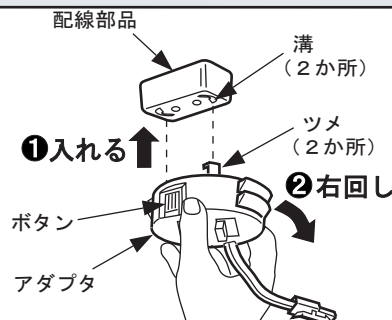


## 器具の取り付けかた

### 1. アダプタの取り付け

電源を切ってください。(壁スイッチを **OFF** にしてください。)

- ①配線部品(引掛シーリングボディなど)の溝にアダプタのツメを入れ、右方向へいっぱい回してください。(ロックが掛かり固定されます。)
- ②ロックボタンが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。



**必ず守る** 取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、はずれないことを確認する。  
\*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

**アダプタのはずしかた**  
ボタンを押しながら左方向へ回してください。

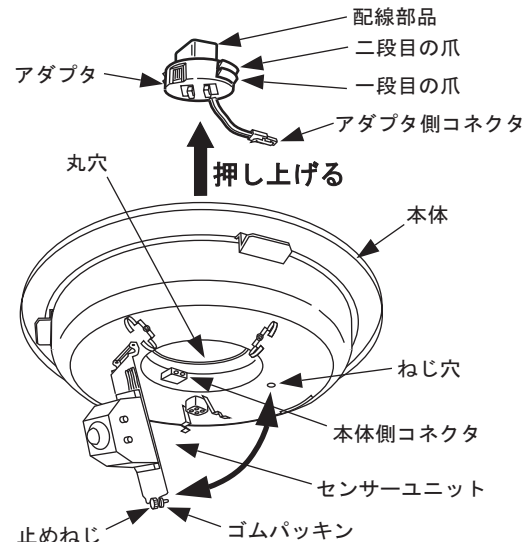
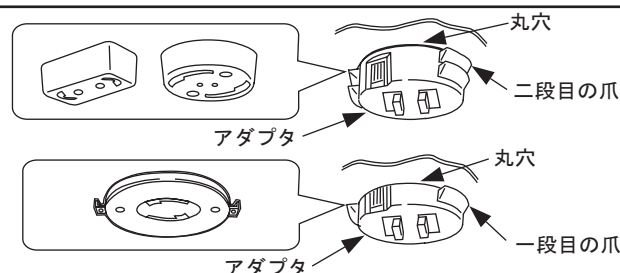
### 2. 本体の取り付け

- ①蛍光ランプをはずした後センサーユニットの止めねじをゆるめ、センサーユニットが傾いて本体の丸穴が見えるようにしてください。(3ページ、**各部の名称** の **本体を取り付ける前に** を参照してください。)

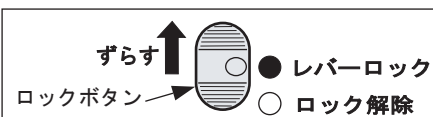
\*止めねじに付いているゴムパッキンは本体取り付け時に止めねじが落ちないように取り付けおいてください。

- ②アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて本体を天井に強く押し上げてください。

**必ず守る** 天井に付いている配線部品により本体の丸穴に掛かる爪の位置が変わるので、必ず下図を参照し適切な爪(両側2ヶ所)が本体に掛かっていることを確認する。  
\*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

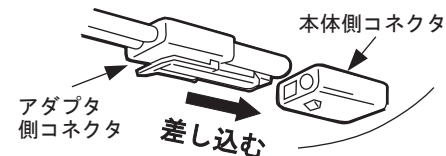


- ③アダプタのロックボタンを「レバーロック」の位置にしてください。



- ④アダプタ側コネクタと本体側コネクタを接続してください。

**禁止** コネクタや電線をむりやり引っぱらない。  
\*電線が断線し、感電、故障の原因となります。

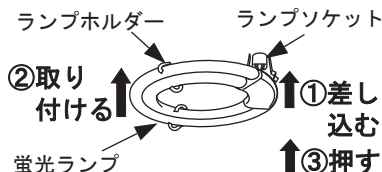


- ⑤センサーユニットの止めねじをねじ穴に取り付け、センサーユニットを取り付けてください。

- ⑥蛍光ランプの口金をランプソケットに合わせて軽く差し込んだ後、ランプホルダーに取り付け、再び口金を押してランプソケットに取り付けてください。

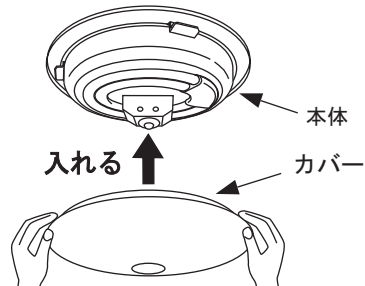
\*電源を入れたままで蛍光ランプを取り付けますと点灯しませんので電源を切った後再び電源を入れて点灯確認をしてください。

**必ず守る** 口金がランプソケットに確実に差し込まれているか押して確認する。  
\*接続が不完全な場合、火災の原因となります。

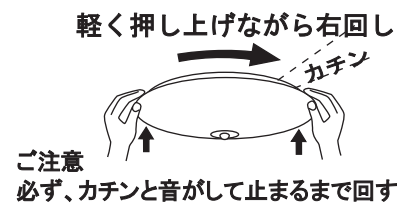


### 3. カバーの取り付け

- ①本体にカバーを入れてください。



- ②カバーを軽く押し上げながら必ずカチンと音がして止まるまで右へ回してください。



**禁止** カバーを正しく取り付け後は無理な力で回さない。  
\*器具の破損、器具の落下によるけがの原因となります。

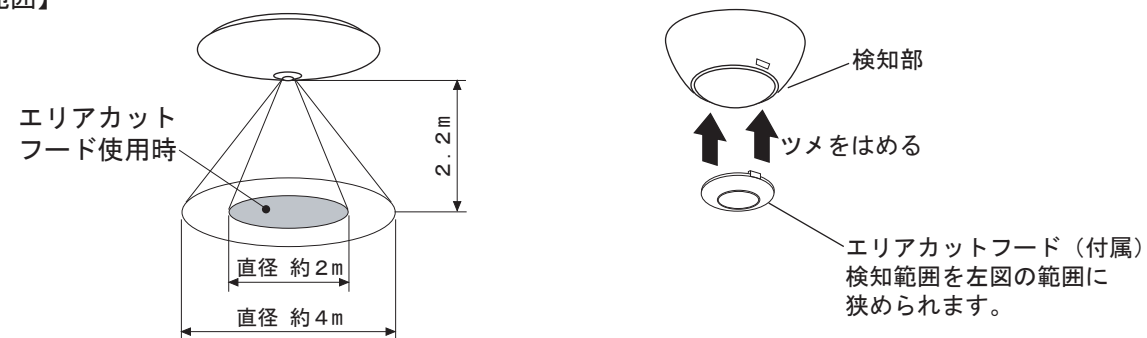
**必ず守る** 取り付け後、カバーを軽く下にひっぱり、確実に取り付いているか確認する。  
\*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

## センサーについて

### ■検知範囲について

- センサーはおおよそ下図の範囲で検知します。図の範囲を参考に器具を取り付けてください。

【検知範囲】



- このセンサーは人の動きなど温度変化を検知しています。次のような現象でもセンサーの異常ではありません。

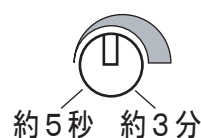
- ・静止している人は検知できません
- ・夏場など人体の表面と床面との温度差が小さくなると、検知範囲が小さくなります。
- ・人以外でも急激な温度変化があると、検知範囲に人がいなくても点灯する場合があります。
- ・器具中心に向かってまっすぐ近づいた場合、上記検知範囲より近づかないと検知しない場合があります。

### ■センサーの設定のしかた

- 調整つまみを使用状態にセットしてください。  
調整つまみをまわし、人を検知しはじめる明るさ、点灯保持時間を設定してください。

点灯保持時間調整つまみ

人が検知範囲からいなくなる、または静止してからの点灯保持時間を調整できます。



点灯する周囲の明るさ調整つまみ

人を検知しはじめる明るさを調整できます。



「明るめ」側にまわすと、明るい時でも人が検知範囲に入ると、点灯します。

点滅動作

